

寿団地のリノベーション住戸

■設計時の目的

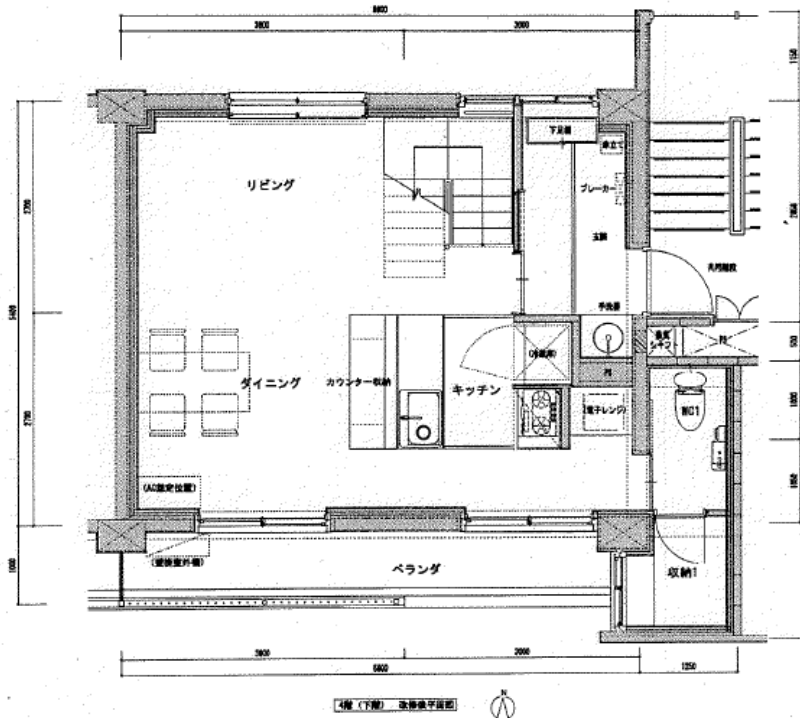
昭和50年代以前に建設された中層住棟の上層階の住戸を、児童・青年期の子育て世帯向けに改修を行う。「住みたくなる」公営住宅となる魅力ある計画により、上層階へ新たな入居希望者を誘導できるリノベーションモデルを目指す。県営住宅寿団地 4・5階のメゾネット形式によるリノベーション住戸改修を行う。

■施設概要

・施設名称	：県営住宅寿団地	・延べ面積	：改修前：4階_41.39㎡ 5階_41.39㎡
・敷地の場所	：松本市寿台5丁目		：改修後：4・5階（メゾネット形式）_82.78㎡
・施設用途	：公営住宅	・規模・構造	：RC造 5階建て

↑ 1階から2階への階段

↓ 2階個室



■高断熱化「UA値：0.6」

断熱性向上を図り、環境負荷の少ない建物として改修しています。

【断熱仕様】

床（熱狂のみ）：現場発泡硬質ウレタン吹付 50mm ※外壁から600mmまで
壁：フェノールフォーム 90mm
天井：高性能グラスウール 210mm (105+105)

■玄関

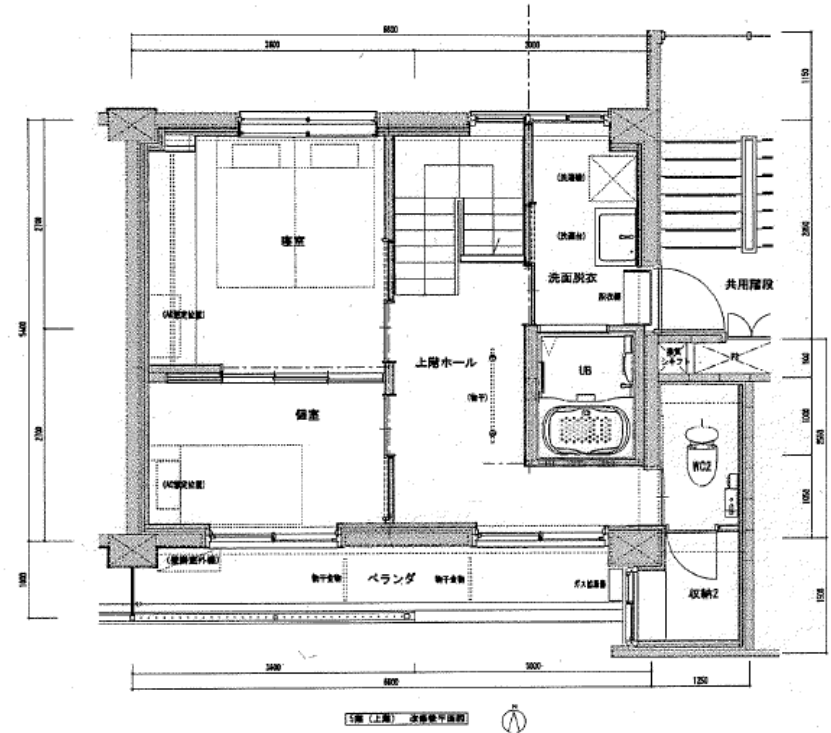
玄関スペースは、居室部分と建具で仕切り風除機能や来客対応時に配慮した計画です。広く確保したスペースには、下足だけでなく、ベビーカーやカッパ、傘の置場を想定しています。感染症予防や児童が外遊び等での汚れを家内に持ち込まないように手洗いを設置し、衛生対策に配慮しています。

■キッチン・リビング・ダイニング

対面型のキッチンとカウンター収納をセットで計画し、家事をしながらの子どもの見守りや勉強スペースとして子育てを支える設えとしています。
また、共用部は間仕切りのない、一つながりの部屋として南北へ風の抜ける（通風の確保）計画とし、玄関のある下階にまとめることで子どもの帰宅が確認できる（引きこもり防止）ように配慮しています。

■WC・収納

トイレは上下階に設置し、生活リズムが異なる家族（順番待ちを防ぐ）や来客用との使い分け（プライバシーの確保）、夜中に階段を下りる必要がない（動線効率化）計画としています。トイレ経由となりますが、収納を併設しパントリーや消耗品の置場として利用可能です。



■寝室・個室

様々な家族構成を想定し、寝室と個室は建具の開閉により、一体的に使用することも間仕切れることも可能です。間仕切ることでも思春期の子ども部屋として利用することが出来ます。

■洗面脱衣

洗面脱衣は、個室とホールを介して計画することで生活リズムが異なる家族でも音が気にならない計画としています。また開口部を設置し、自然換気が可能です。脱衣棚は移動可能な家具として計画し、大型の荷物を上階共用階段から搬入することが可能です。
寒冷地であることや夜間の洗濯に配慮し、ホールには物干しできるスペースを設けています。